

Q7: アトピー性皮膚炎と言われました。食物除去は必要でしょうか？

(年代区分③、④)

A: アトピー性皮膚炎というだけで、真っ先に食物アレルギーが原因と考えたり、離乳食の開始を遅くしたりする必要はありません。スキンケアやステロイド外用薬などによる適切な外用療法を優先させましょう。

解説: 乳児期では、特定の食物がアトピー性皮膚炎の悪化に関与している場合もありますが、すべての乳児に当てはまる訳ではありません。安易に食物除去をするのではなく、まずはスキンケアやステロイド外用薬などによる湿疹の治療を優先させるべきです。もしも食物による皮膚炎の悪化が疑われる場合には、専門の医師に相談しましょう。2017年に日本小児アレルギー学会より「鶏卵アレルギー発症予防に関する提言」が発表されました。そこでは、乳児期早期のアトピー性皮膚炎(痒みを伴う乳児湿疹を含む)は鶏卵アレルギー発症のリスクとなるため、スキンケアおよびステロイド外用薬を中心とした薬物療法により湿疹を寛解(つるつるの状態)させ、生後6か月頃より微量でも加熱鶏卵を開始していくことを推奨しています。ただし、すでに食物アレルギーの発症が疑われる乳児では摂取によりアレルギー症状がおきる危険もあるため、自己判断ではなく、必ずかかりつけ医に相談した上で離乳食を進めましょう。



参考資料:

- ・日本小児アレルギー学会
「食物アレルギー診療ガイドライン 2016 ダイジェスト版」 第6章 診断と検査;
▷ http://www.jspaci.jp/allergy_2016/chap06.html
- ・日本小児アレルギー学会 「鶏卵アレルギー発症予防に関する提言」の解説
▷ <http://www.jspaci.jp/modules/membership/index.php?page=article&storyid=218>